

# 愛荘町商工会女性部活動事例

## これまでの特産品開発のあゆみ



### 愛荘町商工会 女性部 特産品66シリーズ開発の歴史

- 平成21年度 ● 農商工連携人材育成事業  
補助金額：5,000千円  
先進地視察（南富良野町 他）等研修の実施
- 平成22年度 ● 全国展開支援事業  
補助金額：8,000千円  
66うどん、66山芋ぼうろ、66ようかんの開発
- 平成23年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：3,000千円  
愛荘町ブランド化プロジェクト始動  
B-1グランプリ等イベントへ積極的に出場
- 平成24年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：3,000千円  
66そば、あしょうさんストラップ、66マーチの開発
- 平成25年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：3,000千円  
i-showモールの開設
- 平成26年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：3,000千円  
66そうめんの開発
- 平成28年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：2,000千円  
66びんてまりクッキーの開発
- 平成30年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：1,800千円  
66びんてまりびんずの開発



- 令和元年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：2,000千円  
66びんず  
（きなこ・七味醤油・シナモン・さとう・プレーン味）を開発
- 令和2年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：1,700千円  
愛荘豆あられを開発
- 令和3年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：2,000千円  
フリーズドライ味噌汁  
「うまっ」を開発
- 令和4年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：2,000千円  
即席66うどんを開発
- 令和5年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：600千円  
愛荘町魅力発信紙袋を開発  
小規模事業者持続化補助金  
（ビジネスコミュニティ型）  
補助金額：200千円  
SNS活用セミナーを2回開催
- 令和6年度 ● 若手後継者等未来創造事業  
補助金額：520千円  
専門家との試作品開発・PR用リーフレット作成  
防災・減災セミナーを開催  
小規模事業者持続化補助金  
（ビジネスコミュニティ型）  
補助金額：1,000千円 ※青年部合同  
宮城県への被災地視察研修



@AISHO\_66GIRLS



# 1. 事業実施の背景

〈今年度私たちが目指した姿〉

目標・あるべき姿

新たな視点からのアプローチによる特産品を開発し、備える大切さを発信し、愛荘町の持続可能なまちおこしを牽引する存在となる

ギャップ（課題）

- ① 「地域資源×防災」を意識した特産品の試作品開発
- ② 商品化に向けたデザイン・パッケージ作成

現状



背景：女性部組織の防災減災の意識の高まり

愛荘66シリーズのブランドは、地元で浸透してきたけど、もっと広く知ってもらうにはどうすればいいかしら？

普段使いはもちろん 非常時にもおいしく 食べられる商品を開発してはどうか  
なあ…



## 2. 実施した事業内容

### 「防災の視点を取り入れた新特産品による地域の強靱化、地域活性化事業

#### (小規模事業者持続化補助金 ビジネスコミュニティ型)

防災食に関する知識、ノウハウを習得するため「防災食」の商品開発において先進的な地域で視察研修を実施 → 商品の企画、試作品の開発に活かしました。

##### ① 株式会社味きっこう

代表取締役の魚住氏より、市場ニーズ、防災食製造の技術と品質向上、実用性の高い商品開発について学びました。

##### ② 北淡路震災記念公園野島断層

震災を体験された語り部の方より、災害の教訓、地域との連携、心理的・栄養的に良い防災食等について学びました。



### 3. 実施した事業内容

#### 「地域資源×防災」をテーマにした新特産品の試作品開発

（令和7年度 若手後継者等未来創造事業）

〈これまでの特産品開発の経験・ノウハウを活かして〉

愛荘66シリーズに長年関わっていただいている管理栄養士の河合亜紀氏の指導のもと試作品を開発。

試作品開発にあたっては、長年培ってきた農家や製造業者の人脈を活かして。

原材料は、地元の農産品「黒豆」「みずくぐり」を主原料に

地域の活性化に  
繋がればなあ…



## 4. 実施した事業内容



### 愛荘66シリーズの新特産品 「Aishoグラノーラ」

コンセプトは、日常食から美味しく食べられ、「いざっ！」という時の備え（防災食）にも…

研修で学んだ知識、経験を活かし、栄養！手軽さ！美味しさ！を追求

商品パンフレットには、防災食のローリングストック法（少し多めに蓄える→日常生活で使う、食べる→使った分だけ買い足す のサイクルを繰り返す）について記載。→地域の方々に普段からの備えの啓発に…



Aishoグラノーラをきっかけ  
に地域の方々が防災に関  
心をもっていただけたらなあ



将来的には、より食べやすい形状とするため、バー状のグラノーラも検討中

## 5. 実施した事業内容

### 地域イベントの出展による特産品の情報発信と試作品の評価調査

出店実績：中山道宿場まつり、愛荘町スイーツウォーク2025、愛荘66かまど祭  
その他、地域の各種団体、**行政と連携**を図り、わたSHIGA輝く国スポ・障スポにも出展！



愛荘町内外からイベントに参加いただいた約1万人に特産品66シリーズをPR！

各種イベントで、新特産品のアンケート調査を実施しました。

## 6. 本事業による成果

### ① 新たな付加価値を付与した新特産品開発

防災食に関する知識やノウハウを習得できたことで、地域資源に防災という新たなアプローチが可能となり、既存顧客はもちろん、今後のさらなる販路拡大の可能性が見出せました。

### ② 女性部員による防災啓発

新特産品（防災食）の普及により、部員一人一人が防災・減災について情報発信していくことで、災害に強いまちづくりのリーダー育成に繋がっていくことができました。

## 次年度に向けて



- ★防災食の販売を通りして地域の方々に、防災・減災について考えていただけるきっかけとなるよう、地域との連携を深めながら情報発信を強化し、「災害に強いまちづくり」に寄与していきます。
- ★今年度実施した調査事業を基に、Aishoグラノーラのレパトリーを増やし、愛荘66シリーズのブランド力強化、地域経済の活性化に繋がっていきたいと考えています。